



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 シンデン・ハイテックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3131 URL http://www.shinden.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 城下 保  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 齋藤 敏積 TEL 03-3537-0101  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	26,017	—	315	—	197	—	117	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 116百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	63.61	63.21
27年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成27年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第2四半期の数値及び平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。  
 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	21,600	3,649	16.9	1,989.06
27年3月期	21,058	3,634	17.2	1,970.54

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,640百万円 27年3月期 3,625百万円

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,741	9.4	770	37.7	576	24.7	373	39.2	204.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	1,841,200株	27年3月期	1,839,800株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	11,000株	27年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	1,839,872株	27年3月期2Q	－株

(注) 当社は、平成27年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数（四半期累計）」を記載しておりません。

当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1株当たり当期純利益につきましては、自己株式の取得による自己株式の増加を考慮して算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
4. 補足情報 .....	7
(1) 品目別販売実績 .....	7
(2) 前年同期比較四半期連結損益計算書 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気減速の懸念材料をかかえながらも、米国経済は労働市場の改善により個人消費が増加し景気が拡大基調にあり、そのことが牽引となり緩やかな回復基調にあります。

日本経済につきましては、消費税増税後一時的に落ち込んだ個人消費は、回復感のないまま推移し、中国向け輸出の減少が景気回復の重石になっております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、円安と原油安によるコスト低減効果により企業収益が改善し設備投資は持ち直しつつあり、産業用機械及び車載機器向けの電子部品が堅調であることが先行きを明るくしております。

このような情勢の下、当社グループの業績は、前年度に引続き車載機器向け液晶および異物検出器向け電子機器が堅調に推移し、さらにアミューズメント向けCPU等の売上が増加しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は260億17百万円、営業利益は3億15百万円、経常利益は1億97百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億17百万円となりました。

品目別では、液晶分野は車載機器向け液晶が好調で、売上高131億76百万円となりました。半導体分野は、液晶用のドライバーICや車載機器向けメモリに加え、アミューズメント向けCPUや照明用LEDモジュールが好調で、売上高92億42百万円となりました。電子機器分野は、異物検出器や産業用機械向け電子部品が堅調に推移したこと、基地局向けメモリモジュールの受注が増加したことにより、売上高27億73百万円となりました。その他分野は、売上高8億25百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

当第2四半期連結累計期間は、前年に引続き車載機器向け液晶製品及び異物検出器向け電子機器が堅調に推移したことに加え半導体分野が売上増となり、売上高は240億44百万円、セグメント利益は3億12百万円となりました。

(海外)

当第2四半期連結累計期間は、海外顧客向けの半導体ビジネスが停滞したため、売上高は19億73百万円、セグメント利益は14百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

総資産は216億円となり、前連結会計年度末に比べ5億42百万円(2.6%)増加しました。主な要因は、現金及び預金が14億91百万円(43.7%)、商品が11億19百万円(23.3%)増加したこと、受取手形及び売掛金が16億51百万円(14.7%)、その他の流動資産が6億36百万円(45.6%)減少したことによるものであります。

## ② 負債

負債は179億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億27百万円(3.0%)増加しました。主な要因は、買掛金が9億77百万円(25.5%)増加したこと、有利子負債が4億57百万円(3.5%)減少したことによるものであります。

## ③ 純資産

純資産は36億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円(0.4%)増加しました。主な要因は、利益剰余金が34百万円(1.8%)増加したこと及び自己株式を20百万円取得したことによるものであります。

## ④ 経営指標

流動比率は現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6.0ポイント増加し158.9%となりました。自己資本比率は、現金及び預金の増加等による総資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し16.9%となりました。有利子負債対純資産比率は3.5倍となり、前連結会計年度末とほぼ同水準となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、潜在的な欧州の財政危機と中国の経済成長の鈍化を内在しながらも米国経済の回復が世界経済を牽引する方向にあり、エレクトロニクス業界全般としては生産地域に変動があるものの緩やかながらも回復の方向で推移していくものと予測しております。このような環境の下、当社グループは、高採算のビジネスの発掘、深堀に注力し売上及び利益の拡大を図ることにより、年初の計画を達成すべく進めております。

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,411,249	4,903,091
受取手形及び売掛金	11,223,044	9,571,532
電子記録債権	-	247,307
商品	4,796,706	5,916,486
その他	1,396,223	759,461
貸倒引当金	△101	△103
流動資産合計	20,827,121	21,397,775
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	6,892	6,126
その他(純額)	11,082	9,569
有形固定資産合計	17,975	15,695
無形固定資産		
ソフトウェア	7,220	5,835
その他	1,311	1,311
無形固定資産合計	8,531	7,146
投資その他の資産		
投資有価証券	364	441
差入保証金	160,422	160,889
その他	43,770	19,047
投資その他の資産合計	204,558	180,378
固定資産合計	231,065	203,220
資産合計	21,058,187	21,600,995
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,837,793	4,815,556
短期借入金	6,305,013	4,909,147
1年内返済予定の長期借入金	2,814,666	3,233,248
1年内償還予定の社債	332,500	170,000
未払法人税等	47,027	102,239
賞与引当金	53,796	72,199
その他	228,105	163,270
流動負債合計	13,618,901	13,465,661
固定負債		
社債	365,000	280,000
長期借入金	3,394,541	4,161,475
退職給付に係る負債	13,628	13,171
その他	31,736	31,446
固定負債合計	3,804,906	4,486,093
負債合計	17,423,807	17,951,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	991,736	993,136
資本剰余金	672,236	673,636
利益剰余金	1,894,939	1,929,180
自己株式	-	△20,964
株主資本合計	3,558,912	3,574,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	47
為替換算調整勘定	66,473	65,342
その他の包括利益累計額合計	66,482	65,390
非支配株主持分	8,984	8,861
純資産合計	3,634,379	3,649,240
負債純資産合計	21,058,187	21,600,995

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	26,017,883
売上原価	24,680,146
売上総利益	1,337,737
販売費及び一般管理費	1,022,173
営業利益	315,563
営業外収益	
受取利息	1,503
仕入割引	9,599
雑収入	5,439
その他	8,477
営業外収益合計	25,019
営業外費用	
支払利息	74,633
債権売却損	18,912
支払手数料	23,584
為替差損	12,072
その他	14,162
営業外費用合計	143,365
経常利益	197,218
税金等調整前四半期純利益	197,218
法人税、住民税及び事業税	98,915
法人税等調整額	△19,628
法人税等合計	79,287
四半期純利益	117,930
非支配株主に帰属する四半期純利益	898
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,032

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	117,930
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	38
為替換算調整勘定	△1,253
その他の包括利益合計	△1,214
四半期包括利益	116,715
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	115,939
非支配株主に係る四半期包括利益	776



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 品目別販売実績

品目別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)
液晶	13,176,756	50.6
半導体	9,242,290	35.5
電子機器	2,773,777	10.7
その他	825,059	3.2
合計	26,017,883	100.0

(注) 当連結グループの事業は、半導体及び電子部品の販売事業の単一事業であるため、品目別の販売実績を記載しております。

## (2) 前年同期比較四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	増減額	前年同期比
売上高	21,331,321	26,017,883	4,686,561	122.0%
売上総利益	1,066,326	1,337,737	271,410	125.5%
営業利益	142,730	315,563	172,832	221.1%
経常利益	86,097	197,218	111,120	229.1%
税金等調整前四半期純利益	82,109	197,218	115,108	240.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,738	117,032	72,293	261.6%

(注) 前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成しておりませんが、参考情報として社内管理数値を記載しております。なお、当該数値については、東陽監査法人による四半期レビューを受けておりません。